

第32回有機結晶シンポジウム開催報告

東京科学大学理学院 関根 あき子

日本化学会有機結晶部会が主催する第32回有機結晶シンポジウムが、2024年10月26~27日東京科学大学(旧東京工業大学)大岡山キャンパスにて開催されました。本シンポジウムでは、結晶の構造、物性、機能、反応、動的分子挙動等をはじめとした有機固体全般を主とした有機結晶シンポジウムが行われました。招待講演2件、口頭発表28件、ポスター発表70件の計100件の発表があり、参加者は166名(一般74名、学生92名)でした。懇親会には65名(一般45名、学生20名)にご参加いただき、盛会となりました。また、第2代有機結晶部会会長を務められた大橋裕二先生からは、有機結晶部会発足当時の貴重なお話もうかがうことができました。

招待講演は、関連分野でご活躍されているお二人の先生にお願いいたしました。

阿波賀邦夫先生(名古屋大学大学院理学研究所 教授)

「強等方性と分子自由度の結合が生み出す機能物性」

石井和之先生(東京大学生産科学技術研究所 教授)

「超解像顕微鏡を用いたソフトクリスタル研究」

口頭発表については、申し込み数が多く一部の方にはポスター発表に変更していただくことになってしまいました。また、すべての口頭発表を20分とし議論を深めました。ポスター発表は二日に分け、余裕を持った構成としましたが、大変盛況でした。

口頭発表およびポスター発表を行った学生・若手研究者の中から、最優秀講演賞1名、優秀講演賞1名、最優秀ポスター賞2名、優秀ポスター賞2名を選出しました。レベルの高い発表ばかりで選考が難航しました。受賞された以下の皆様、おめでとうございます。

【最優秀講演賞・CrystEngComm Presentation Prize】

長谷部 翔大(早大院先進理工)「広域波長光で動く高速有機結晶オシレータ」

【優秀講演賞】

鯉淵 領(東大生研)「アシルヒドラゾン誘導体結晶の光誘起融解における配座多様性効果」

【最優秀ポスター賞・CrystEngComm Poster Prize】

矢野 理子(横浜国大院理工)「ペリレン置換ピナフトール誘導体によるジアステレオマー結晶の形成と発光特性」

大石 優希(山口大院創成科学)「ハライド固溶体 $dabcoH \cdot (Br_xI_{1-x})$ におけるリラクサー特性の組成・温度依存」

【優秀ポスター賞】

藤本 悠史(信州大院総合理工)「複素環を有する β -ジケトンフッ化ホウ素錯体の溶媒蒸発結晶化過程の蛍光可視化」

渡邊 佑(東京科学大理)「ジクロロアントラセン分子ピンセットの固相自己組織化とカルボニル化合物の蛍光センシング」

今回も審査数が多く、多くの先生方に審査をお願いすることになりご負担をおかけしましたが、活発な若手研究者が多いことは大変嬉しく思います。今後もさらなる有機結晶研究の発展を祈念しております。

本シンポジウム開催にあたりましては、部会役員・部会員の皆様に貴重なご助言、多大なご協力をいただきました。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

